

船橋夏見 安全新聞

【本校初の引き渡し訓練】

十二月七日（土）土曜参観に合わせ、本校で初めて地震による被災を想定した引き渡し訓練を行いました。今回は初の試みということで、安全に引き渡すことに重きを置き、取り組みました。生憎の天候でしたが、一つ一つ手順を確認しながら行い、大きな混乱はなく訓練を終えることができました。今回の訓練で様々な御意見をいただき、見えてきた課題もあります。今回の反省を生かし、さらに安心安全な学校にしていけるよう整えていきます。保護者の皆様におかれましては多大な御協力ありがとうございました。



令和元年度を終えて

本年度も大きな事故なく終えることができました。様々な訓練や研修を通し、生徒、保護者、職員が防災についてそれぞれの立場から考えていくことができました。来年度も引き続き安心安全な学校づくりに努めます。

【職員の防災研修】

「楽しく防災を学ぶ」をテーマに職員で研修を行いました。日頃の備えから、いざという時の対応まで、様々な内容に取り組み、改めて防災を考えるきっかけとなりました。

○防災クッキング

サバイバル食の定番カレーライス作り。



○校内消化器マップ作り

学校に配置されている消化器の場所を全て見つけ出せるか・・・。



○シャッフル

カードゲームをしているといつの間にか防災博士に・・・！



本校の災害時情報伝達について

引き渡し訓練での保護者アンケートにおいて、災害時の情報伝達について不安に思っているとの声が多く聞かれました。本校の情報伝達の手段は

①マチコミ

②電話連絡

③災害伝言ダイヤル（171）

以上の三系統となっています。特に災害伝言ダイヤルでは、毎月一日を訓練日（災害発生時を除く）として設定しメッセージを流しています。いざという時に活用できるよう、ぜひ一度訓練への御参加をお願いします。

「千葉県の交通安全について」

平成三十年千葉県内における交通人身事故の死者数は、百八十六人、負傷者数は二万千百六十人でした。このうち、歩行者が関係する事故の死者数は六十人、負傷者数は二千八百九十五人でした。

事故の特徴としては、高齢者と小学生が特に多く、小学生の年齢別でさらに見ると七歳が最も多く歩行中の事故に遭っています。これは、六歳で学校へ登校しはじめる慣れと同時に油断が生じ始める七歳に事故が多く見られると分析されています。

内容としては飛び出し事故が多く歩行者側はもちろんドライバー側に対しても注意喚起の必要性も言われています。

本校においても自力で通学している生徒が在籍しています。自力通学を始めるに当たっては生徒、保護者、職員とで通学路の確認を行い、練習しています。また、学期のはじめなど折々で職員が生徒の通学の様子を確認しています。学校、御家庭が協力して今後も生徒達の安全を守っていきましょう。